

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	外国語	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次
科目名	上級英語	履修	選択	開講	通年
教科書	Cutting Edge	副教材	Cutting Edge Blue 大学入試長文読解問題集		
1 学習の目標					
(1) 構造が難解な英文を精読する力を身に付ける。 (2) 展開を予測し、話の流れをつかみながら読解する力を身に付ける。 (3) 記述式の設問に解答できるよう、英文の内容を要約する力を身に付ける。					
2 学習の方法					
(1) 授業の内容について ① パラグラフリーディングのスキルの習得 ② 読解に必要な構文や重要表現の定着 ③ 読解に必要な語法や文法事項の定着 ④ 記述式問題を意識した「書くこと」の言語活動 ⑤ 英文を活用した「読むこと」の言語活動 ⑥ 音読活動(コーラスリーディング、シャドウイングなど) (2) 授業以外の活動など ① 英文読解の実力養成として、初見の英文を読解する。 (3) その他 ① 授業規律や授業準備を大切に、落ち着いて授業に取り組める環境をつくる。 ② 「学ぶこと」に対する意欲を高く持ち、自ら課題を設定することによって主体的な学びとなるよう取り組む。 ③ 学習する上で「助け合い」や「学び合い」が必要なことからペアやグループ学習に積極的に参加する。 ④ 「話すこと」、「書くこと」において、間違いを恐れずに英語を積極的に使用する。					
3 評価について					
①評価の観点					
知識・技能	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・社会的な話題について書かれた文章を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。				
思考・判断・表現	・社会的な話題について書かれた文章を読んで、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。				
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。				
②評価の方法					
材料	定期考査	課題	ペア・グループワーク		評価方法
観点					
知識・技能	○				定期考査の素点により評価
思考・判断・表現	○				定期考査の素点により評価
主体的に学習に取り組む態度		○	○		課題、ペア・グループワーク等
4 その他					
(1) 授業の進め方 予習を課さない演習形式の授業とする。 問題に取り組む(20)→ナビブックの「語句」の確認→解説→ナビブックの「要約」→ナビブック「語句確認ドリル」を一つのサイクルとする。 (2) 評価の仕方 定期考査は知識・技能が50点程度、思考・判断・表現が50点程度。初見の問題を10点程度出題する。 各レッスンが終了したらナビブックを提出し、主体的に学習に取り組む態度として評価する。					

単元の目標・評価						
単元名	Chapter 1 教育と疾病					
単元の目標	同格表現、関係代名詞の非制限用法、分詞構文、形式目的語の用法を理解し、疾病予防と教育の重要性を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカーを理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 2 最後のメッセージ					
単元の目標	分詞構文、無生物主語構文、使役動詞、部分否定の用法を理解し、登場人物の心理的な変化を意識して物語を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカーを理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 3 目の大きさと脳の関係					
単元の目標	不定詞の副詞的用法、比較級、強調構文、関係代名詞節中の挿入の用法を理解し、人体をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカーを理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 4 液体燃料問題					
単元の目標	時制、分詞構文、無生物主語構文、の用法を理解し、エネルギーをテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 5 貴重な教訓					
単元の目標	付帯状況のwith、無生物主語構文、話法、前置詞asの用法を理解し、登場人物の心理的な変化を意識して物語を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 6 コークVSペプシ					
単元の目標	同格表現、関係代名詞what、分詞の後置修飾の用法を理解し、時事問題をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 7 動物の社会的距離					
単元の目標	現在完了形、thatの用法、過去分詞の後置修飾の用法を理解し、生物学をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。		

単元名	Chapter 8 睡眠の役割					
単元の目標	関係代名詞、関係副詞、修辞疑問文の用法を理解し、人体をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。		

単元名	Chapter 9 口論と真実					
単元の目標	同格のthat、比較級、状態動詞の進行形の用法を理解し、社会問題をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。		

単元名	Chapter 10 オーガニック					
単元の目標	仮定法、対比のwhileの用法を理解し、食の安全をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。		

単元名	Chapter 11 自動運転車					
単元の目標	仮定法、不定詞の完了形、使役のmake、s many as の用法を理解し、自動運転をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。		

単元名	Chapter 12 AIと仕事					
単元の目標	名詞構文、分詞構文、関係代名詞の用法を理解し、AIに関する社会への科学技術の貢献をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。	・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。		

単元名	Chapter 14 災害と温暖化					
単元の目標	間接疑問文、強調の助動詞do、省略、同格の用法を理解し、環境問題をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

単元名	Chapter 18 確証バイアス					
単元の目標	関係代名詞、他動詞と副詞からなる熟語、wouldの用法、間接疑問の用法を理解し、様々な思考をテーマとする英文を理解する。					
育成を目指す力	行動力・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	演習・ペアワーク					
活動内容	語彙の適切な意味を理解するとともに文構造を理解し、内容理解の精度を高める。自分の考えを相手が求める形式で答える力を養成する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・段落におけるトピックセンテンスの働きや、文と文、段落と段落のつながりを示すディスコースマーカ―を理解している。 ・語句の表現、文法事項等の知識を活用して内容を的確に読み取ることができる。		・文章の内容から、書き手の意図を憶測することができる。 ・文章に関わるテーマについて、自分の考えを持つことができる。 ・既習の文法などを活用し、話したり、書いたりすることができる。		・読みながら、メモを取るなどして、関心を持って読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても推測するなどして読み続けている。	

6 年間計画						
学期	月	単元		項目	予定時数	考查
前期	4	Chapter 1	教育と疾病	☐ 教育	4	前期 中間 考查
	5	Chapter 2	最後のメッセージ	☐ 物語	4	
		Chapter 3	目の大きさと脳の関係	☐ 人体	4	
	6	Chapter 4	液体燃料問題	☐ エネルギー	4	前期 期末 考查
	7	Chapter 5	貴重な教訓	☐ 労働・リーダーシップ	4	
	8	Chapter 6	コークVSペプシ	☐ 労働・リーダーシップ	4	
		Chapter 7	動物の社会的距離	☐ 生態・行動	4	
	9	Chapter 8	睡眠の役割	☐ 人体	4	後期 中間 考查
後期	10	Chapter 9	口論と真実	☐ コミュニケーション	4	
		Chapter 10	オーガニック	☐ 経済と社会問題	4	
	11	Chapter 11	自動運転車	☐ 交通	5	
		Chapter 12	AIと仕事	☐ AI・IT	5	
	12	Chapter 14	災害と温暖化	☐ 環境	5	後期 期末 考查
		Chapter 18	確証バイアス	☐ 社会・思考	5	
	1					
	2					
	3					